令和３年度　城北地区防災対策協議会
第1回　役員会及び研修会

日　時　令和３年６月１７日(木)　１９時００分～
場　所　城北地区公民館　１・２会議室

次　第

1.　開会挨拶　　（鈴木）

・本日の趣旨説明（本年度の活動計画の確認と協議）

■【報告】

・「鳥取市わがまち防災支援補助金」（120万円補助交付予定）

・『鳥取市「地域の“話し愛・支え愛”推進事業」』モデル地区指定に伴う事業連携について　　＊安全・安心な地域づくり（地域福祉）

２．　主な協議内容

①事業展開にあたっての協議の視点

〈城北地区まちづくりいきいきプラン・これまでの継続事業の見直し〉

■ 新型コロナウイルスの感染を予防しながらの事業展開

■ 鳥取市の「重層的支援体制整備事業」にそった事業展開

【規約に沿った確認事項】

城北まちづくり協議会の目的

第　2条　　城北防災協議会は、住民の自治、互助に基づく地区内の防災対策ならびに防災活動を推進し、地震その他の災害(以下「地震等」という)による被害の防止および軽減を図ることを目的とする。

魅力ある住み良いなちづくりを推進するため、市と連携のもと、城北まちづくり計画の策定および推進を図ることである。　（規約：第２条 目的）

城北まちづくり協議会委員の役割

委員は、協議結果について、城北住民に理解を求めるよう努力するとともに、その推進を図る。

委員は、その所属する団体の意見をまとめ、これを協議会に反映させるよう努めるものとする。　（規約：第１２条 委員の任務）

③配布資料の確認

■本部会資料

・部会資料　・城北まちづくり協議会【組織図】

・城北地区 コミュニティ・カレンダー〈例年の流れ〉２０２１

部会の進め方

①城北まちづくり協議会の本年度の取り組みについて　（鈴木：１５分）

■ 「共助トラック」使用について

■ 鳥取市の「重層的支援体制整備事業」にそった事業展開について

■城北地区まちづくりいきいきプラン・継続事業の見直しについて

②現時点での部会（事業）スケジュールの確認　（部会長：１０分）

③継続事業について、より大きな効果が期待できるアイディア等の意見交換

・より安全に、多くの住民が事業参加するための手立て　（協議：１５分）

④部会の目的からみた、地域課題解決に向けた意見交換　（協議：１０分）

⑤事業の評価と次年度の取り組みへ反映すべき事項の話し合い予告（部会長：５分）

・１１月部会までに、事業についての考えをまとめていおてください。

令和３年度　まちづくり協議会役員　専門部会長　執行部選出案

役　員　名	令和３年度	
	氏　　名	担　　当

顧　問	渡邊　喜好	
会　長	鈴木　伝男	
副会長	水田　憲夫	総務 広報
副会長	大江　博臣	福祉 健康
副会長	**坂本　正博**	**環境 安全**
副会長	中村　勝子	文化 交流
事務局長	入江　敏夫	
事務局次長	稲村　陽子	
会　計	**木村　進**	
監　事	今井　由喜子	
監　事	梶谷　善憲	

【専門部会長】

総務 広報：　木村　進　　（秋　里）

健康 安全：　植村　俊夫　（田園町３丁目）

環境 安全：　右近　謙治　（丸山　西）

文化 交流：　日下部　進　（松並町　２区）

令和３年度　活動計画について

“元気で楽しく心地よく 住んでよかったと 実感できる城北に！”をキャッチフレーズにして取り組んできた「城北まちづくり生き生きプラン」の見直しに着手したいと考えています。

これまでの継続事業の効果を点検し、より充実させることがねらいです。

また、制度の狭間にある困りごとに対応する“まちづくり”の事業展開を、鳥取市（鳥取市社会福祉協議会　地域福祉課）と協働して取り組み、財政的・人的支援を受けたいと考えています。

まちづくりの輪を広げ、みんなで地域を盛り上げていくような**「地域共生社会」**の実現に軸足を置いて取り組みたいと考えています。

１）　６月　８日（火）１０：００～　役員会

〇本年度活動内容の進め方について

ア）「城北まちづくり生き生きプラン」見直しについて

＊「地域の“話し愛・支え愛”推進事業」事業費活用について

イ）４部会の活動の進め方と確認事項について

ウ）共助トラックの管理・活用等について確認

エ）コミュニティ・カレンダーの活用について

２）　５部事業部会の事業展開

３）７月　日（　）上下組み立て式　アルミ製ステージ購入

＊一般コミュニティ助成事業（２５０万円交付）

４）　月　日（　）令和３年度　会計監査

２．　主な協議内容

■令和３年度通常総会（紙面決議）の内容について

■　その他

３．　閉会の挨拶

鳥取市地域防災計画(令和元年度修正)には、現時点では盛り込まれていません。

城北地区防災対策協議会としては、「分散避難」を推奨しますが、住民の受け入れスペースなど、感染症対策をとった避難所開設を、独自に想定しておくことが喫緊の課題となります。

次に、本年度は「鳥取市わがまち防災支援補助金」を申請して、120万円補助（世帯数加算）をいただくことにしています。補助金を活用して、昨年度、新設した防災倉庫に感染症対策を踏まえた避難所運営資機材の備蓄を考えています。プロジェクトチームを編制して、購入備品に優先順位をつけて話し合い、速やかに購入したいと考えています。

コロナ感染状況を踏まえつつ、不測の事態に備えて計画的に、粛々と出来ることから事業を進めておくことが重要だと考えます。

行政に依存する受身的な防災ではなく、我々住民自らが主体的に防災行動を起こし、「自分の命は自分で守る」・「自分達の地域は自分達で守る」能動的な防災力の構築が重要であると考えます。

城北地区防災対策協議会は、町内単位の自主防災会・各種団体（規約：別表1）と連携調整し、防災に対する知識・技能等の啓発と、災害時の避難等のあり方について検討するとともに、訓練を通して地域住民の安全・安心を担保する地域防災力を高めることを目的に、本年度も以下の取り組みを行います。